

## 上池試験掘削地 試験状況について

### 1. 上池の試験掘削の目的

- ・ 上池に堆積している土砂を除去し、地下水の湧出を確認する。
- ・ 掘削後、試験区内における植物の出現状況を確認する。

### 2. 試験掘削の目的

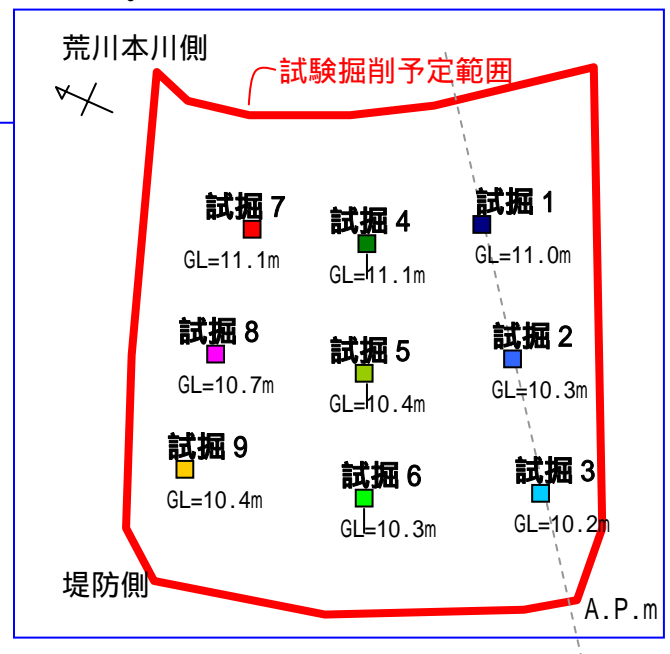
- ・ 掘削した箇所では、周辺の地下水位及び付近の植生等へ影響が及ぶ可能性がある。このため、数箇所では試験掘削を行い、掘削範囲を生態系モニタリング専門委員会の指導のもと決定する。

### 3. 試験掘削の概要

試験掘削予定範囲内の 9 箇所では縦 約 1m×横 約 1m、掘削深約 1m の掘削を生態系モニタリング専門委員会委員の立会いのもと実施。

試験掘削日：平成 21 年 2 月 3 日

- ・ 試験掘削 5 の地点で深さ 1m まで掘り下げたところ、深さ約 80cm で砂層の出現を確認した。
- ・ 荒川本川に近い側は地盤も高くなっているため、試験掘削後地表面から 1m 下がったあたりに地下水面が出現した。
- ・ 本川から遠い側は地盤が低く、試験掘削後地表面から 5～15cm 程度に地下水面が出現した。なお、試験掘削 3 の地点の脇には水溜りもあった。



試験掘削平面位置図

[ 生態系モニタリング専門委員会立会い状況 ]



周辺状況



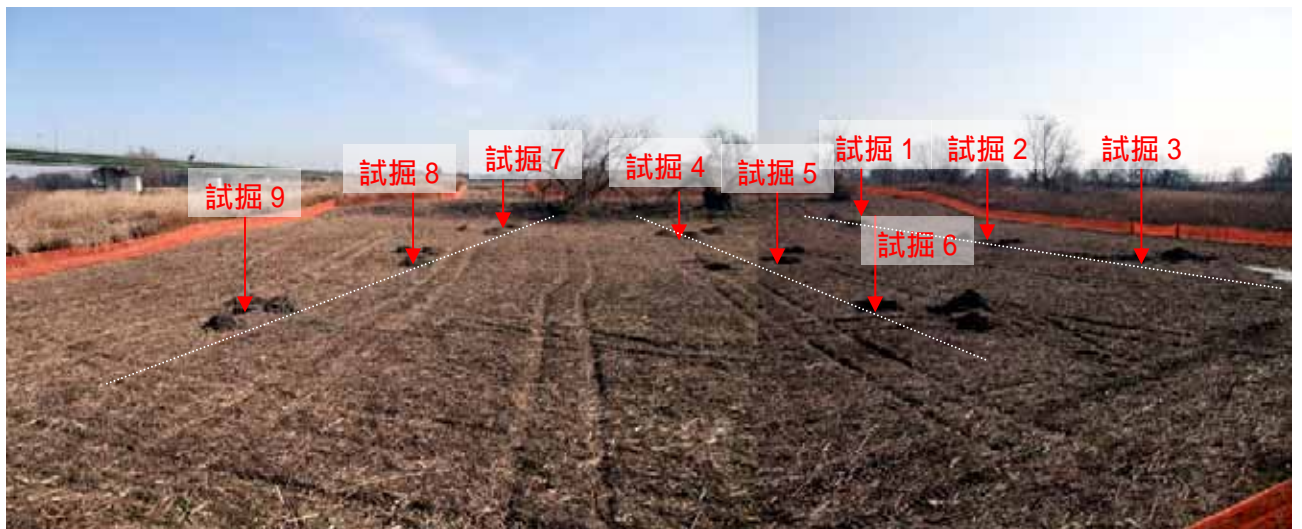
試掘の様子



砂層の確認状況



砂層の確認状況



堤防側から試験掘削地を望む

#### 4. 試掘後の状況

試掘日前には1月30日～31日に降雨が確認されていることから、試掘日当日は、降雨により地下水位が高いことが予想されたため、1週間後に再度確認を行った。

なお、試掘後は2月20日、23日に降雨が確認されている。

さいたま観測所アメダス

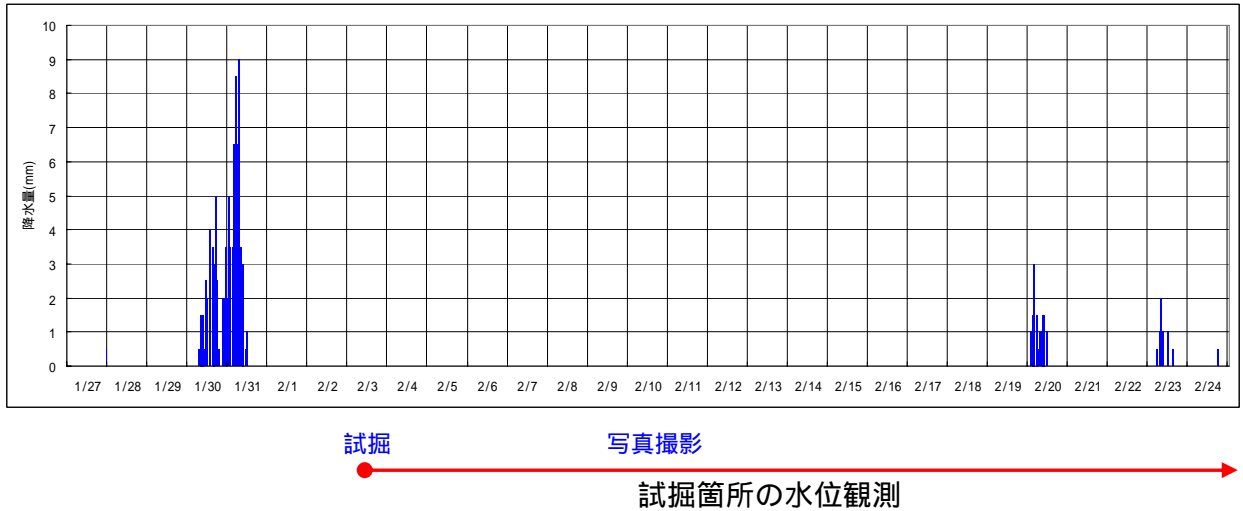


図 試掘日付近における降雨状況

確認結果概要：

- ・ 水位状況は1週間の間で大幅な変化は認められなかったが、2月24日までの全体の傾向として下図に示すとおり、試掘当日の水位と比較すると時間の経過とともに低下する傾向が確認された。
- ・ 上池付近の経年的な平均地下水位はA.P.10.3mであるが、試掘箇所の水位はこれを若干下回っているものの、ほぼ近い値になっている。なお、試掘箇所に近い地下水位観測所（上-1）における冬季の地下水位は、過去4年の値を見るとA.P.9.5m～11.5m付近を推移しており、この範囲に含まれていると言える。上-1の平均地下水位は10.4m

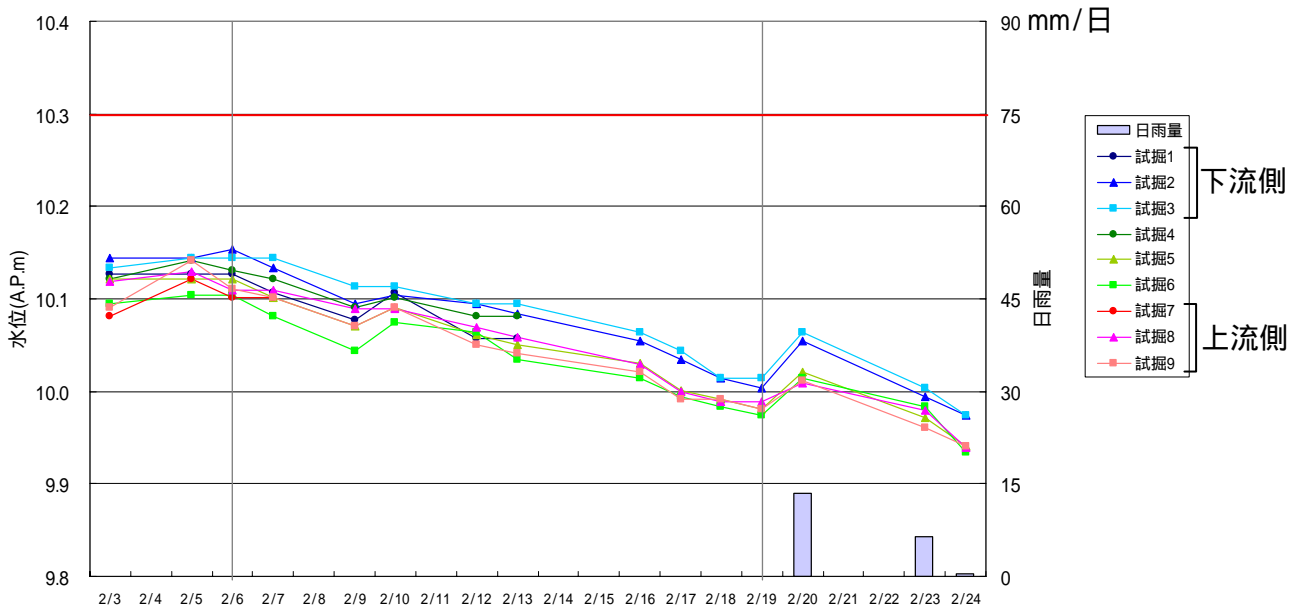


図 試掘箇所の水位状況

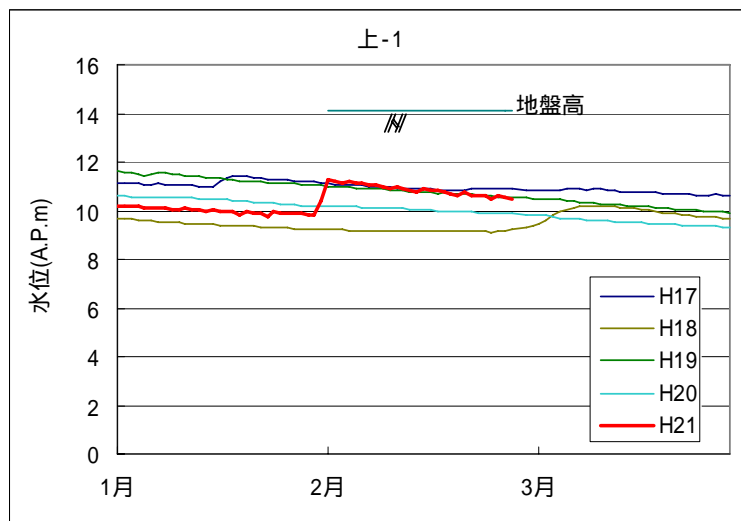


図 上-1 の冬季における地下水位状況

## 5. 今後の対応

年度内の作業として、掘削範囲を順次拡大していく。

試掘箇所の様子写真

	試掘直後 (2月3日)	試掘 1 週間後 (2月10日)
試掘 1		
試掘 2		
試掘 3		

	試掘直後 (2月3日)	試掘 1 週間後 (2月10日)
試掘 4		
試掘 5		
試掘 6		

	試掘直後 (2月3日)	試掘 1 週間後 (2月10日)
試掘 7		
試掘 8		
試掘 9		